

教科「地理歴史」

科目「地理B」

(3年次文型)

単位数	4単位
担当者	渡邊 俊之
教科書	新詳地理B、新詳高等地図(帝国書院)
副教材等	新詳地理資料COMPLETE(帝国書院) 新地理要点ノート(啓隆社) データブックオブザワールド(二宮書店)

【1】科目の目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

【2】科目の内容と進め方

- 1学期：資源エネルギー問題、工業、観光業、交通、通信、貿易など、現代世界の系統地理的考察に関する内容を扱う。
- 2学期：人口問題、村落と都市、都市・居住問題、生活文化、民族と宗教、領土問題、世界の諸地域（アジア・アフリカ）の地誌を扱う。
- 3学期：世界の諸地域（ヨーロッパ、ロシア、アメリカ、オセアニア）の地誌を扱う。

【3】学習形態

教室において、マンツーマン形態で学ぶ。

【4】学習上の留意点

地図帳を活用し多面的に地域を捉えながら、現代世界の諸課題について考察していくことが重要である。また、基本的な地名や地理的事象の特徴的なものは地域の諸背景と結びついている。「なぜそこがそうなるのか」を大事にしながら、覚えるよりも背景考察型の学習を心掛けることが最も重要である。

【5】評価の方法と評価の観点

① 評価の観点

- 1 地形・気候・文化・産業など、世界の地理的事象に関心がある。
(関心・意欲・態度)
- 2 世界の地理的事象から課題を見だし、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。(思考・判断・表現)
- 3 地図や統計資料を活用している。(資料活用の技能)
- 4 基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。
(知識・理解)

② 評価の方法

- ・ 授業での学習活動の様子、学習活動シート、演習課題への取り組み状況から、主体的に学習しようとする態度を評価する。
- ・ グループ学習において、授業で扱った地理的事象を取り上げて、授業で学習したことを踏まえて、世界の諸課題とその解決策について話し合う。この学習を通して、地理的思考力や課題解決能力を身につけることができたかを評価する。
- ・ 定期考査や課題テストから、地理的思考力や資料活用の技術等を評価する。

【6】その他

なし